

# そして、 終わりの日は来た

Now the last day is dawning

1982年8月、ポラー・ミュージック・スタジオでアバ最後のレコーディング。

1982年の初め、アバは今年も例年のパターンで活動するつもりでいた。年初に曲を書き、続いて録音し、新曲で構成したニューアルバムを発表する。一時は2枚組のLPを作るプランさえあった。1枚はスタジオで録音し、もう1枚はヨーロッパのどこかで特別のコンサートを開いてライブ録音するのである。

だが、この凝った計画は結局ご破算になり、6月にアバが82年初のレコーディングを終えて間もなく、2枚組アルバム《ザ・シングلز——ザ・ファースト・テン・イヤーズ》を出すことが決まった。73年以来のシングルに新曲2曲を加えた新たなヒット曲のコンピレーションである。だがアバは、録音した新曲に満足できず、アルバムに収録できればシングルのA面にも使える水準の2曲が完成したのは、ようやく8月になってからだった。

8月のレコーディングは、アバ最後の録音セッションになった。このとき録音されたのは、〈アンダー・アタック〉〈カサンドラ〉〈ザ・デイ・ビフォア・ユー・ケイム〉の3曲である。〈アンダー・アタック〉は彼らの最後のシングルのA面になり、〈ザ・デイ・ビフォア・ユー・ケイム〉と〈カサンドラ〉はA B面に組み合わせられて、その秋発売のアバのシングル第1弾になった。

アバが最後に録音した曲〈ザ・デイ・ビフォア・ユー・ケイム〉の収録時には、明らかに終末の気配がスタジオに漂ったとミカエル・トレトヴは振り返る。メンバーの4人は当時、今後もアバのグループ活動は続くと思っていると語っていたが、いま思えば、彼らも1つの時代の終わりを潜在意識で感じていたと見て間違いのないようだ。



録音した曲を手直しするビョルン、ベニー、ミカエル・トレトヴ。左はポラー・ミュージック・スタジオのデジタルレコーダーを操作するミカエル・トレトヴ。